

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】平成 27 年 3 月 12 日 (2015.3.12)

【公表番号】特表 2012-528447 (P2012-528447A)

【公表日】平成 24 年 11 月 12 日 (2012.11.12)

【年通号数】公開・登録公報 2012-047

【出願番号】特願 2012-512513 (P2012-512513)

【国際特許分類】

F 2 1 S 2/00 (2006.01)

H 0 1 L 33/48 (2010.01)

F 2 1 V 29/00 (2015.01)

F 2 1 Y 101/02 (2006.01)

【F I】

F 2 1 S 2/00 2 2 4

H 0 1 L 33/00 4 0 0

F 2 1 S 2/00 2 1 5

F 2 1 V 29/00 5 1 0

F 2 1 V 29/00 1 1 0

F 2 1 Y 101:02

【誤訳訂正書】

【提出日】平成 27 年 1 月 19 日 (2015.1.19)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

光を生成するよう構成される光源と、
前記光源を支持するよう構成される担体であって、前記光源が、前記担体と熱的接触をしている担体と、

前記光源及び前記担体を囲む封体部とを有する照明装置であって、

前記担体が、熱を前記照明装置の外へ放散するために前記封体部の表面全体が用いられるような接触面に沿って、前記封体部と直接熱的接触をするよう配設され、前記封体部及び前記担体が、セラミック材料を有する照明装置。

【請求項 2】

前記封体部が、前記光源によって生成された光の少なくとも一部を透過するよう構成される透過性領域を有する請求項 1 に記載の照明装置。

【請求項 3】

前記担体が、前記光源によって生成された光の少なくとも一部を透過するよう構成される透過性領域、及び / 又は前記光源によって生成された光の少なくとも一部を反射するよう構成される反射性領域を有する請求項 1 又は 2 に記載の照明装置。

【請求項 4】

前記セラミック材料が、半透明の多結晶酸化アルミニウムである請求項 1 乃至 3 のいずれか一項に記載の照明装置。

【請求項 5】

前記セラミック材料が、少なくとも約 5W/mK の熱伝導率を持つ請求項 1 乃至 4 のいずれか一項に記載の照明装置。

【請求項 6】

前記封体部が、電球状である請求項 1 乃至 5 のいずれか一項に記載の照明装置。

【請求項 7】

前記封体部が、接合される場合に前記封体部を形成する少なくとも 2 つの包囲部を有する請求項 1 乃至 6 のいずれか一項に記載の照明装置。

【請求項 8】

前記包囲部が、2 つの電球半体である請求項 7 に記載の照明装置。

【請求項 9】

包囲部と前記担体の少なくとも一部とが、単一の一体化部品を形成する請求項 7 又は 8 に記載の照明装置。

【請求項 10】

前記担体が、2 つの包囲部の間の接合部に配設される請求項 7 又は 8 に記載の照明装置。

【請求項 11】

前記包囲部が、互いに嵌めるよう構成される請求項 7 乃至 10 のいずれか一項に記載の照明装置。

【請求項 12】

前記担体が、前記照明装置の底部からその上部へ延在する軸に沿って、又は前記照明装置の底部からその上部へ延在する軸と交差する方向に沿って、配設される請求項 7 乃至 11 のいずれか一項に記載の照明装置。

【請求項 13】

前記光源が、少なくとも 1 つの LED 又は少なくとも 1 つの LED パッケージを有する請求項 1 乃至 12 のいずれか一項に記載の照明装置。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0009

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0009】

本発明は、前記照明装置の前記封体部（又は電球）は、ヒートシンクの役割を果たし、（例えば、前記光源、又は前記光源に接続されるあらゆる電気回路によって生成される）熱を前記照明装置の外へ放散するのに役立ち得るという理解を利用している。この目的のため、前記光源は、担体であって、それ自体、前記封体部と熱的接触をしている担体と熱的接触をするよう配設され、前記担体と前記封体部との両方とも、セラミック材料（良好な熱伝導率を持つ材料の一種）を有する。本発明は、伝熱が、前記照明装置の主要部品、即ち、前記光源、前記担体及びとりわけ前記封体部の特定の構成によって供給されることから、伝熱のための付加的な（又は特殊な）構成要素を全く必要としない点で有利である。更に、本発明では、前記照明装置の表面全体、即ち、前記封体部の表面全体が、ヒートシンクの役割を果たし、それによって、伝熱のための相対的に大きな面を供給する。従って、本発明は、前記照明装置の外部環境への熱の効果的な伝達が提供される点でも有利である。